

◆視察研修

「広尾町における新規就農の状況」

この研修は、向井畜産部会長からの発案により、新規就農者が多い広尾町を訪れ、畜産・農政・農地の3部会合同により9月5日に行われました。

当日は、広尾町農村環境改善センターにおいて新海会長、杉坂会長のあいさつの後、JA広尾山本課長より「広尾町における新規就農取組状況」について説明を受けました。

広尾町では、平成5年に「新規就農条例」を制定し、当初は手作りパンフレットの作成や資金の借り入れ保証を農協の理事会が行うなどの取り組みをし、就農後は、サポート会議による定期管理や広尾町農政推進協議会による四半期ごとの点検を行い、昨年まで12戸の新規就農者を受入れました。

また、今後の課題として、農地や施設の大型化による初期投資額の増大や新規就農者が希望する営農形態にどれだけ近づけるかなどが上げられ、本町の委員から新規就農時の平均的な農地面積や初期投資額について質問されていました。



説明の最後には、新規就農された2件の方から、就農に至った経緯として、受入側の親身になった対応が就農のきっかけになったこと、自分のやりたい農業ができる環境があったことなどが話されました。

午後からは、「農業生産法人ピラオロ」が経営するTMRセンターと「大森カントリーガーデン」を視察させていただきました。



広尾町は、道総研中央農業試験場の予測によると2025年までの農家戸数が現在と変わらないと予想されており、今回の研修が本町の農家戸数減少に歯止めをかけるため有意義なものとなるよう、参加した委員一同真剣な表情で研修されていました。

最後に、お忙しい中、受入くださった広尾町農業委員会会長様はじめ事務局の皆様、並びにJA広尾町様、加藤牧場様、小田牧場様、(株)ピラオロ様、(有)十勝大森牧場様に深くお礼申し上げます。



大森カントリーガーデン



農業委員の紹介

この度、幕別農協推薦の齊藤正孝委員に代わりまして、新委員に前川厚司氏（字明倫）が選任されましたのでご紹介いたします。



前川 厚司 氏
農政部会
(幕別市街地区担当)

農業経営者の高齢化や、担い手不足、T P Pなど農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

このような中、地域農業を守り、農業振興を図るため、行政・関係機関と協力し、先輩諸氏の指導を仰ぎながら農業委員としてしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

事務局職員の紹介

平成25年4月1日付けにて人事異動がありましたのでお知らせします。

○事務局長

農地振興係 係長 高橋 宏 邦

主査 佐瀬 洋 美

主事補 川本 貴 士

○忠類支局長（経済建設課長兼任）

天羽 徹

農地振興係 係長 伊藤 憲 彦